

美しい多摩川フォーラム・平成24年度総会議事録

- ・日 時 : 平成24年5月27日(日)10:00~11:30
- ・会 場 : フォレストイン・昭和館 2階 シルバンホール(昭島市)
- ・来場者 : 会長、副会長、運営委員、監事、顧問、アドバイザー、一般会員等

(司会・渡辺)開会までまだ少々お時間がございますが、事務局より幾つかご案内をさせていただきます。本日の総会の次第ですが、お手元の資料にもありますように、細野会長の開会挨拶の後、来賓の方のご挨拶があります。そのあと、経過報告をビデオ放映にてご覧いただき、議事に入りますが、第1号議案では平成23年度事業決算(案)、第2号議案では平成24年度事業計画・同予算(案)についてご協議を頂きます。その後、意見交換を予定しており、終了は11時30分となります。なお、広報用ビデオを撮影させていただきますので、あらかじめご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。

1. 開 会

(司会・渡辺)只今より、美しい多摩川フォーラム・平成24年度総会を開会致します。それでは、総会開会に当たり、事務局よりご報告させていただきます。

(事務局・及川)フォーラム事務局の及川と申します。どうぞよろしくお願い致します。本日は、会員数1,125名中、委任状による代理人出席を含め249名の会員が出席され、書面議決書提出の会員477名を加えて、合計726名となっております。

本日の資料の確認ですが、ホチキス留めの資料は、表紙が次第になり、次から1ページ~8ページまで、そしてA3のカラーのペーパーとA4のモノクロが1枚ずつ付いております。その他、A4カラーが1枚、こちらは、6月上旬発行予定のとうきゅう環境財団「財団だより」の巻頭言ですが、とうきゅう環境財団様のご好意で今回配布をさせていただきました。続いてプレスリリースが1枚、最後に金融経済新聞の記事が1枚ございます。なお、平成23年度の活動実績の各報告書については、ホームページにアップしておりますが、後方のテーブルにもご用意しておりますので、ご自由にお持ちくださいませ。事務局からは以上です。それでは、細野会長、よろしくお願い致します。

2. 会長挨拶

(細野会長)皆さまこんにちは。おはようございますと言ったほうが良いでしょうか。さきほどお話がありましたように、このフォーラムもいよいよ6年目に入ります。これもひとえに皆さまのご協力とご支援の賜だと思っております。改めてお礼を申し上げます。後ほど、事務局から、嬉しい報告が2つあると思います。資料にもありますが、世間から評価され、2つの偉大な賞をもらうことができました。非常に有り難いことです。昨年のこの壇上で私が何を申し上げたかと言うと、「3.11は東

日本だけの問題ではなく、日本全体の問題である。エネルギー関連で考えると、世界的な問題ではないか」とお話しました。その後1年経ちましたが、私たちが期待している復興が円滑に進んでいるでしょうか。私たちの意識が風化されていないでしょうか。私たちの関心として、いまだどれくらいの重みを持っているのでしょうか。これらのことをぜひお考えいただきたいと思います。実は、今年の多摩地域の人口は、去年と比べて減少に移行しつつあります。社会減は、30市町村のうち14に及んでいます。自然減は、9市町村です。人口減は多摩から始まり、しだいに23区に波及していきます。地域の活性化を考えると、人口は大事な要因ですので、私たちがどういう形で地域を魅力的にし、23区に負けない地域づくりが出来るのかを考えないといけません。この総会は、平成23年度の事業の報告と同時に、平成24年度にどういう事業をするのか、5年、10年先をどういう風に見据えて活動していけば良いのかを皆さんと一緒に考える会です。式次第6番目の「意見交換」が、総会では最も大事なことです。2つの賞をもらいましたが、賞をもらうことが重要なのではなく、それを支えてくれた皆さまの協力、また今後の意識もとても大事だと思います。では、これから総会を開始します。

3. 来賓挨拶

(司会)どうも有り難うございました。それでは、ご来賓の皆様からここでご挨拶を頂戴したいと存じます。まず初めに、東京都産業労働局観光部振興課観光まちづくり担当課長・小平房代様に、ご挨拶をお願い致します。

(小平房代様)皆さんおはようございます。ただいまご紹介にあずかりました、東京都産業労働局観光部観光まちづくり担当の課長をしております、小平でございます。本日は、観光部長の横山が所用のため、私からご挨拶をさせていただきます。東京都は、平成24年3月に、東京都産業振興基本戦略を策定しました。その戦略のひとつとして、地域産業を位置付け、多様な地域の観光資源を生かしながら観光振興を推進してまいりたいと思っています。私ども東京都は、日頃から国内外に向け、東京の様々な魅力を万華鏡にたとえてPRしております。例えば、都心には最先端技術を持った中小企業がありますし、都心から近い多摩地域は緑豊かな自然があふれていますので、東京の色々な面を紹介しています。今後も、多摩地域を含めた東京の観光振興に力を入れてまいりたいと思っています。

今年度で5年目を迎えられる多摩川フォーラム様のご活動により、地域がますます盛り上がり、東京がよりいっそう元気になるよう、活動を記念しましてご挨拶と代えさせていただきます。

(司会)どうも有り難うございました。続きまして、多摩川上・中流域の自治体を代表して羽村市長・並木心様に、ご挨拶をお願い致します。

(並木市長)おはようございます。ご紹介をいただきました、羽村市長の並木でございます。行政の長は、運営委員の一人でありますので、ご挨拶をするのが本来の役目ではなく、実際の活動の

ほうで協力すべき立場であります。お役目ですので、ご挨拶をさせていただきます。平成24年度の総会、誠にありがとうございます。年々充実し、お集まりの皆さんが多くなったという印象を受けているところです。昨年の大震災以降、こういうフォーラムの地域のコミュニティ、繋がりが大切であると、一段と認識を深めることができました。多摩川というシンボルを中心として、周辺地域で力を寄せ合い、地域の振興、産業等々の中で、充実した活動を、公・民・行政それぞれが一体となって行う活動の域がさらに深まっていると承知をしているところでございます。上・中流域の代表としてご紹介をいただきましたが、ますます多摩川や河川の大切さや周辺の掘がりについても認識され、これから新たな展開をしていく必要があると思います。細野会長が人口減についてお話しされました。我々の産業構造の変化も大変大きくなってきておりますので、そういう意味でも、このフォーラムで学ばせていただき、実践活動を行うことの意義をさらに重要視していきたいと思っております。この後、総会の中で色々な案件が審議されますが、それぞれの議案が、原案通り議了され、平成24年度の活動が素晴らしいものになりますよう、ご祈念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。有り難うございました。

(司会)並木様、有り難うございました。続きまして、多摩川下流域の自治体を代表して大田区副区長・野田隆様に、ご挨拶をお願い致します。

(野田隆様)美しい多摩川フォーラム・平成24年度の総会が、このように盛大に開催されますことを、まずもってお祝い申し上げます。大田区は、多摩川が東京湾に注ぎこむ下流部に位置しております。多摩川という繋がりの中で、自治体間の関係が大切だと思っております。私どもの松原忠義区長は、美しい多摩川フォーラムに大変期待をしているところであります。上流部において、こんなに一生懸命多摩川のことを考えてくださる皆さんがいらっしゃるということに、下流部でも呼応しなければいけないと思っており、いつも美しい多摩川フォーラムのことを考えながら、私どもも施策を展開しているところであり、この集まりに出席できないのが残念である、また、くれぐれも皆さんによろしく、そして感謝を伝えてくれということでありました。代理で恐縮でございますが、大田区から皆さまにご挨拶をさせていただきます。こちらは大変緑が豊かな多摩川の源流というところですが、大田区は、工業の町であり、商業も盛んなところで、大都会の一角でございます。しかしながら、「大田区は自然の豊かな自治体です」といつも言っております。その理由は、多摩川であり、東京湾なのです。大都市の生活の中で、自然を感じるような自治体を作っていかなければならないと強く感じており、自然を大切にする試みを進めていきたいと思っております。美しい多摩川フォーラムは、先行して沢山の試みを行っていらっしゃいますので、一生懸命ついていきたいと思っております。今日、この会場には、若い皆様に多数お集まりいただいていますし、中には日に焼けた顔の方もいらっしゃいます。何よりも、多摩川の周辺でご活躍なさっている皆様方です。文字通り、市民の活動として、美しい多摩川を作る、多摩川の自然を守るという活動が成り立っていることがとても大切であると思っており、私どもも皆様とご一緒に、今日、「多摩川でボートを楽しむ会」の皆さんも参加されていますが、市民の活動、区民の活動が繋がっていくということの中で、

美しい多摩川、私たちの暮らしの中でとても大切な場所としての美しい多摩川を作っていくことを一緒にさせていただきたいと思っております。改めまして、本日の総会、誠にありがとうございます。また、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

(司会)野田様、どうも有り難うございました。ご来賓の御三方にご挨拶をいただきました。それでは、経過報告に移らせていただきたいと思います。事務局から説明をお願い致します。

4. 経過報告 (ビデオ放映)

(事務局)前にお座りの役員の皆さま、お席をご移動ください。それでは、経過報告をさせていただきます。お時間の制約もありますので、定例事業については、お手元の資料3ページをご参照いただければと存じます。本日は特に新規事業を中心にご報告させていただきます。まず、本年2月に完成した「多摩川の歌」のDVDをご覧いただき、続いて東北・夢の桜街道プランの中から、シンボル事業であります「美しき桜心の物語」の語り会」の様子をビデオにまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。放映時間はおよそ20分です。

(ビデオ放映)

(事務局)いかがでしたでしょうか。「多摩川の歌」のDVDですが、出演者の皆様には、ボランティアでご協力いただきました。また、ご覧いただきました映像につきましては、多摩ケーブルネットワーク様の全面的なご協力により制作することができました。本当に有り難うございました。本日は、平野副会長にご出席をいただいておりますので、「美しき桜心の物語」の語り会」について、補足説明がございましたらよろしくお願い致します。

(平野副会長)いまビデオを掻い摘んでご覧いただきましたが、桜に願いをかけるシーンが出てくる瀬戸内寂聴先生の作品で、京都が舞台ですが、桜に関する心、日本に昔から伝わる心が根底にあるので、日本全国どこでも通じるお話として、この三春滝桜でも、ぜひ、という声があったので、語らせていただきました。映像にもありました通り、当日はとても風が強く、寒い中でした。当日の様子は、皆様に配布された資料の中に、とうきゅう環境財団の「多摩川だより」の巻頭言を執筆したものが入っていますので、これをご覧いただければと思います。とにかく、すごく寒い中、大勢の皆様が、特に県外からの皆様がお泊りで来てくださり、県内や三春町の宿は当日一杯となりました。当初の目的である、「多くの人に訪ねてもらい、食べて、飲んで、お土産を買って帰ってもらうことで、復興支援ができれば」という、このイベントの目的が果たせました。これは全て、あんなに寒い中、前もって予約をさせていただいた方や、当日来てくださった方々のおかげです。なお、スタッフの方については、事務局から少ない人数で、一人何役もの役目を果してくださり、寒い中、会場内を駆けずり回って楽屋や控え室の間の連絡などをしてくださりました。そういった中でこれだけ大きなイベントができたのは、稀なことだと思います。当日は、細野会長も森田副会長もいらしてく

ださり、篠塚名誉会長もいらしてくださいました。そういった多くの心が集まってできたイベントです。さきほど、「多摩川の歌」はボランティアですとお話がありましたが、私もボランティアで出演させていただいておりますので、ご了承いただければと思います。この桜のイベントをやっていくのに、色々な人が復興支援をやっていていると思います。「多摩川の団体なのに、なぜ東北なのか」とお思いの方もいらっしゃるかもしれませんが、先ほど細野会長からお話があった通り、実はこれは東北のためだけではなく、ひいては多摩川のためでもあるのです。多摩川流域は、余り大きく取り上げられていませんが、河の氾濫や土砂崩れなどの災害にいつ出くわすか分からない土地です。また、大田区などの湾岸部は、いつ東京湾から津波が来るかわからない危険性があります。事実、東日本大震災の時も、東京湾に津波が発生しています。いま、東日本大震災のことを見つめ、応援していることが、いずれは私たちのためになると思っています。そういった見返りのためだけにやっているわけではありませんが、その時の心構えを作るためにとても大事なことだと思っています。今日のビデオ放映の中には入っていませんでしたが、今年3月に調布市で行ったイベントでは、消防関係者に多く集まっていただき、細野会長も「これからは防災もテーマに入れていく」と挨拶でおっしゃいました。まさに今、防災を考えていかないと、チャンスはもうないと思っています。三春滝桜のイベントも、復興応援や地域振興だけではなく、将来にわたった我々多摩川流域の防災意識を育てるということにも繋がっていますので、今後ともよろしく願いいたします。

(事務局)有り難うございました。平野副会長におかれましては、多摩川夢の桜街道の桜の札所におきましても、毎春、桜の語りをボランティアでご披露いただいています。引き続き、平野副会長、ダニエル・カール副会長におかれましては、今年度以降も各種事業にボランティアでご参加いただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。なお、お時間の関係で、ご紹介できなかった活動が多々ありますが、フォーラムのホームページにビデオレターという形で動画をアップしているものもありますので、ぜひご覧くださいませ。

また、このような美しい多摩川フォーラムの活動が高く評価され、事務局の青梅信用金庫が、本年2月に公益社団法人日本フィランソロピー協会が実施している第9回「企業フィランソロピー大賞」特別賞を受賞、今月には、「官民広域連携による地域づくりの取り組み」として、全国信用金庫協会が実施している、第15回信用金庫社会貢献賞において、最高賞にあたる会長賞を受賞しましたので、ご報告させていただきます。以上で経過報告を終わります。

5. 協 議 (議長:細野会長)

(司会)これより本日の総会の議事運営に移りたいと思います。その前に、議長を選出する必要がありますが、当フォーラムの規約第12条3項により細野会長をお願いしたいと存じます。それでは細野会長、議長席の方へお進みください。よろしくお願い致します。

(細野会長)細野でございます。それでは、規約によりまして暫らくの間、議長を務めさせていただきます。着席したまま進行させていただきますこととお許し願います。それでは、限られた協議時間ですが、

皆様におかれましては、既に議案にお目を通して頂いているものとして議事運営を行わせて頂きたいと思っておりますので、ご協力のほど、よろしくお願い致します。早速ですが、事務局より第1号議案の説明をお願いします。

(1)第1号議案：平成22年度事業決算(案)

(事務局) 1 ページ、平成23年度事業決算(案)をご覧ください。はじめに、修正予算の表記ですが、昨年度の総会において、東日本大震災の影響に伴う事業見直しによる修正予算承認について、臨時運営委員会を開催することで、その決定に一任しました。そこで、昨年7月の臨時運営委員会で、ボサノヴァ・コンサートを中止とし、その予算を「多摩川の歌」DVD化および東北・夢の桜街道プランに充当すること等を織り込んだ修正予算について、ご承認をいただきましたことをご報告致します。

それでは、まず、収入の部ですが、会費収入は、予算1,800,000円に対し、実績は1,847,000円となりました。因みに平成23年度は、168会員増加し、本年3月末現在の会員数は、1,125会員となりました。その他の項目では、青梅信用金庫様、東急百貨店様、大田区民有志様による寄付金、青梅市からの助成金、農林水産省関東農政局からの交付金が加わり、収入合計額は18,801,863円となりました。

一方、支出の部ですが、運営費のホームページ見直しについては、ソフト開発費が想定よりかかったため、上振れしております。活動費ですが、多摩川夢の桜街道・桜の札所巡り事業は、昨年4月の「語り」公演に加え、本年3月の「語り」公演が含まれており、上振れとなりました。美しい多摩川クリーンキャンペーンは、チラシを自前で作成したため、下振れしております。次に、美しい多摩川フォーラムの森づくりですが、看板の設置を自前で施工したことから、下振れとなっております。環境シンポジウムは、震災対応等から行政サイドと日程調整がつかず、未実施となりました。また、中学校対象の総合教育文化事業ですが、ESD(すなわち持続可能な社会のための人づくり教育)実施のため予算計上しましたが、結果的に、あきる野市の増戸中学校1校だったため、下振れております。最後に、東北・夢の桜街道プランは、昨年10月に公表しましたが、反響が余りに大きかったことから、ポスターやチラシを増刷し、上振れしております。

さて、平成23年度決算の監査ですが、2ページをご覧ください。5月10日に、当フォーラム監事の館 盛和様、同じく山崎 真義様に監査を受け、監査報告書を頂いております。それでは、監事を代表して館 様にご報告をお願い致します。

(館監事) 只今ご紹介に預かりました監事の館でございます。平成23年度事業決算(案)の監査結果について、山崎監事も同一見解ですので、代表してご報告致します。平成24年5月10日に、平成23年度収支決算報告に基づき、帳簿及び証拠書類その他を精査した結果、相違ないと認めます。また、平成23年度活動実績書に基づき、事業の内容について監査した結果、適正であったことを認めます。以上でございます。

(細野会長)はい、有り難うございました。何か皆様の方からご疑問の点はありますでしょうか。…もしないようでしたら、如何でしょうか、ご承認頂けますようでしたら、拍手をもってお願い致します。(拍手)…有り難うございました。それでは、賛成多数で第1号議案は可決承認とさせていただきます。では、事務局より第2号議案の説明をお願いします。

(2)第2号議案：平成23年度事業計画・同予算(案)

(事務局)平成24年度事業計画・同予算(案)をご覧ください。まず、収入の部ですが、会費が1,900,000円、青梅信用金庫様より寄付金8,000,000円、交付金として、農林水産省関東農政局、これは前年度に続く継続案件になりますが、2,199,000円、助成金として、青梅市様より287,000円、前期繰越金1,708,726円を加え、合計が14,094,726円となります。

一方、支出の部ですが、運営費として、総会ほか合わせて3,250,000円を見込んでおります。

次に活動費ですが、夢の桜街道・札所巡り事業ほか合わせて9,779,000円を見込んでおります。この結果、次期繰越金は1,065,726円となります。なお、活動費の下から2行目の「食と地域の交流促進対策事業」2,199,000円ですが、これが農林水産省関東農政局の交付金事業にあたります。その下にあります、「東北・夢の桜街道プラン」ですが、こちらは、東北復興支援事業としまして、東北・夢の桜街道推進協議会に拠出し、詳細は協議会に一任しております。

5ページをご覧ください。平成24年度事業計画(案)の実施内容について、「経済」「環境」「教育文化」の3つの柱に沿って事業をまとめています。今年度につきましては、環境⑦多摩川“水”大学講座が新規事業となります。この講座は、調布市さんとの共催で、去る5月18日に第1回目が開講されました。講師には、小倉副会長をお招きし、水の重要性や知識を総合的に知ることにより、水環境に関するリーダーを養成していきたいと考えています。

6ページをご覧ください。平成24年度事業計画(案)の趣旨説明ですが、○印の3つ目にございます。「こうした状況下、…」以降の一部を読み上げます。平成24年度につきましては、「100年プラン」で示されているコア事業、農林水産省関東農政局交付金事業(2年目、最終年度)、及び東北復興支援事業(2年目)をベースに、原案を取りまとめました。原案策定に当たっては、5年間の実践的な事業活動の成果や3つの活動部会での意見・提案等を踏まえ、以下の事業を選定しました。なお、本年度は、農水省案件や東北復興支援案件等、大型案件が重なっているため、既存事業の継続実施が基本となっております。以上で第2号議案の説明を終わります。細野会長、よろしくお願いたします。

(細野会長)はい、有り難うございました。大型案件が2つあり、新規が1つあるということです。何か皆様の方からご疑問の点はありますでしょうか。…もしないようでしたら、如何でしょうか、ご承認頂けますようでしたら、拍手をもってお願い致します。(拍手)…有り難うございました。それでは、賛成多数で第2号議案は可決承認とさせていただきます。

(3)その他

(報告)フォーラム活動部会の体制について

(細野会長)その他の議案はございますか？ないようでしたら、事務局より報告をお願いします。

(事務局)平成24年度の各活動部会の日程につきましては、お手元資料の7ページをご覧くださいませ。次に、フォーラムの活動部会の体制ですが、8ページをご覧ください。教育文化部会長の下重運営委員におかれましては、フォーラム設立当初より、幼児を対象にした「森のムツレ教育」をはじめ、「多摩川の歌」づくりに大変ご尽力をいただきましたが、当初の大きな目標を達成したほか、このほど下重委員が中心となって、新しくNPOを立ち上げられたこともあり、この際、新しい方にバトンタッチしたいとお申し出がありました。また、環境清流部会長の福田運営委員におかれましても、林業にお詳しい立場から、「美しい多摩川フォーラム・御岳の森」や、「美しい多摩川フォーラムの森(青梅)」の開設に向け、大変ご尽力をいただきましたが、下重部会長と同様、所期の大きな目標を達成したことから、フォーラム発足後5年の節目にバトンタッチしたいとお申し出がありました。このため、細野会長が熟慮された結果、フォーラム規約第14条3項および4項により、新しい教育文化部会長には平野副会長が就任され、環境清流部会長には、副部会長の渡邊運営委員が就任され、空席となった副部会長には馬淵運営委員が就任されることとなりましたので、ご報告申し上げます。

ここで、教育文化部会長に就任された平野副会長に一言、お願い致します。

(平野部会長)細野会長から「ぜひ教育文化部会長をやってほしい」と言われまして、悩んだのですが、引き受けさせていただくことにしました。下重先生の在任中、色々なことを教わってまいりました。それがそのまま上手く繋げられるかどうか、今は自分でも良く分かりません。しかし、教育に関しては、長年、日本ユネスコ国内委員会の委員をされており、今新たに役目をいただいたところです。日本ユネスコ国内委員会は、フォーラムと同じく、無報酬の大ボランティア団体で、交通費さえ返上する人が続出する、場合によっては持ち出しする団体です。このフォーラムも、志の高い人が多いと聞いておりますが、そういう中で教育をやっていくことは、とても大事なことだと思います。志の高い方に参加していただきたいし、できれば芸術という方面、青梅が特にそうなのですが、かつて青梅で養った人、青梅の空気を吸って青梅の人たちが応援した人が、後に文化勲章を取るような芸術家になられている。これは、芸術家本人の能力だけではなく、むしろ青梅が育てたと思っています。他にも、多摩にはそういう場所が沢山あります。その息吹を、もっと多くの人に知ってもらいたいと思っていますので、そういった点でも、芸術という方面に少し光を当てたいと思っています。教育文化部会は、「教育」と「文化」が一緒になっていますが、国も「文部科学省」と「文化庁」が別々になっているように、フォーラムの中でも大きな取り組みができるのではないかと思います。フォーラム外部の方には報酬を払っています。そういうことができる潤沢な予算があれば良いのですが、それが無い場合は、なるべくフォーラム内の人材で、外部の方でも志でやっていただく方にご協力をいただきたいと思います。もし、芸術方面で私と一緒に手を携えてやってくださる方

がいっしょにいましたら、ご協力をお願いいたします。これから一生懸命部会長を務めさせていただきます。有り難うございました。

(事務局)有り難うございました。次に環境清流部会長に就任された渡邊運営委員に一言、お願い致します。

(渡邊部会長)ただいまご指名をいただきました、環境清流部会長の渡邊勇です。よろしくお願いいたします。私は、色々な市民団体をやってきましたが、市民団体を継続してやっていくためには、皆さんの協力がなければ長続きしません。こういう活動が、多摩川流域で発展していくことを期待しております。環境清流部会の事業としては、6月3日に多摩川一斉水質調査を行います。多摩川で70カ所の水質を測定し、マップにします。これが、1回で終わらずに、10年、20年、100年続くよう、目標にしてやっていきます。また、多摩川一万人清掃大会、京王クリーンキャンペーン、美しい多摩川クリーンキャンペーン、美しい多摩川フォーラムの森(青梅)の整備等もあります。水環境シンポジウムについては、これから企画をいたします。多摩川“水”大学講座は、私も早速参加させていただき、小倉先生の講義を聞いて、環境清流部会で活かしていきたいと思っていますので、ご協力をお願いいたします。

(事務局)有り難うございました。次に環境清流部会副部会長に就任された馬淵運営委員に一言、お願い致します。

(馬淵副部会長)皆様おはようございます。この度、環境清流部会副部会長を仰せつかりました、とうきゅう環境財団の馬淵でございます。今後ともよろしくお願いいたします。私どもの財団は、公益財団法人として、多摩川およびその流域における環境の保全、維持を大きな目的としております。そして現在、公益目的事業として3つの事業がありますが、1つ目として、多摩川流域を含めた様々な調査・研究をされている方々に対する研究の助成事業を行っております。2つ目として、シンポジウムや市民講座、あるいはイベント等に対する活動の支援事業を行っております。3つ目は、多摩川の交流誌として、「多摩川・財団だより」を年間4回発行しています。また、主に小学生を対象とした、環境副読本「ジュニアガイド・多摩川へ行こう」の発行で、啓発普及事業を行っております。こうした私どもの活動を通じ、今後、美しい多摩川フォーラムでの事業実施に少しでもお役に立てればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(事務局)有り難うございました。フォーラム会員一同、細野会長の元で、引き続きフォーラム活動に邁進していきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。それでは、新しく就任された部会長、副部会長にエールの拍手をお願い致します。

(細野会長)はい、有り難うございました。皆様、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

以上で、全ての議案が承認されましたので、議長を下ります。有り難うございました。

6. 意見交換（細野会長）

（細野会長）さて、この機会に、今後のフォーラム活動を展望して、皆様からご意見・ご要望等を頂戴したいと存じます。さきほど事務局から、2つの賞を獲得したと報告がありました。大変嬉しいことですが、最も大事なことは、会員の皆様の日々の活動の積み重ね、会の継続です。これこそが、当フォーラムの全てだと私は思っております。「何かこういうことがやりたい」「こういうことで困っている」ということがございましたら、ご発言いただきたいと思います。ありませんか……。山崎運営委員、何かございませんか。

（山崎運営委員）多摩川でお魚ポストという活動を行っている山崎と申します。これだけ大勢の方が集まり、行政の方や企業の方もいらっやっています。美しい多摩川フォーラムが取り持つご縁で、お互いに新しい活動が展開できないか、それを部会等で話し合いができれば良いと思います。会員の皆さんから「私ならこういうことができる」「こういうことをやってもらえないか」というご提案をいただければ良いと思います。例えば、私は紙芝居を持って、川崎や大田区の学校を回り、水の大切さや多摩川の話、お魚ポストに捨てられた外来種の話子どもたちにしています。「うちにも来てほしい」というご要望がありましたら、言っていただきたいと思います。我々の団体だけではなく、フォーラムには様々な団体が入会しています。まずはどんな団体があるのか、ホームページ等で調べていただければと思います。

（細野会長）有り難うございました。他にご質問やご意見はありませんか。ないようでしたら、次にいきましょうか。

（事務局）はい、なかなか手を上げにくいかもしれませんが、お手元の資料7ページにあります通り、6月より、各活動部会を開催する予定です。6月22日（金）は地域経済活性化部会、6月27日（水）は教育文化・環境清流合同部会がございますので、会員の皆様におかれましては、積極的にご出席いただき、色々な意見をいただければ幸いに存じます。

7. 会長総括（細野）

（司会）さて、早いもので、総会のお開きの時間も迫ってきております。ここで、細野会長に総括をお願いしたいと存じます。

（細野会長）早いもので、時間がまいりました。総括を行う前に、本日、楽天銀行の代表取締役社長の永田俊一さまがお越しになっています。永田様は、フォーラムの顧問をなさっていらっしゃいますのでご紹介いたします。（拍手）では総括させていただきます。東北の復興は、1年経ちましたが、なかなか進みません。色々なところで活動が滞っています。なんとかしなければいけません、

ただひとつ言えることは、この国が住み良い、幸福な国になるには、国からのトップダウンだけではなくかもしれません。ひょっとすると、我々フォーラムのような、地域からいろいろな工夫が出て、試してみて、反省しながら、寄り良い社会を作っていくという、ボトムアップの、息が長い活動が地道に行われることが、この日本の良いところかもしれません。先ほどから何回も言いますが、私たちは、2つの賞をいただきました。世間から有り難く評価をされた訳ですが、これもひとえに我々の日々の活動であるということです。そんな想いを皆さんと共有したいと思います。今日のビデオで「多摩川の歌」が流れました。その中のフレーズに、「人々の心 ゆるく結んで」とあります。まさしくネットワークの考え方です。皆様の想いをゆるく結びながら、どうしたら社会、日本、世界が良くなるのだろう。「多摩川」をキーワードに、「経済」「環境」「文化」「芸術」を、縦横無尽に結びながら、平成24年度の美しい多摩川フォーラムの活動を推進していきたいと思っております。今日はお忙しい中、有り難うございました。

8. 閉会挨拶（森田副会長）

（司会）有り難うございました。それでは閉会のご挨拶を、森田副会長にお願い致します。

（森田副会長）閉会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。本日は、日曜日でお休みのところ、予定のあった方もいらっしゃったかと思いますが、多くの方に総会にご出席をいただき、誠に有り難うございました。フォーラムは、設立時に、多摩川流域の経済の活性化、環境の保全、教育文化活動をしようと推進してきた訳ですが、今年度から、それらに加え、観光による東北復興支援を始めました。会長からもお話がありましたが、10年間応援する予定です。この事業には、平野さんの多大なご協力があり、先ほど見ていただいたビデオの通りです。私もイベントに出掛け、ビデオにも映っておりましたが、寒い日だったので、顔が引きつっておりました。話の内容は、色っぽいお話で、平野さんの語りの技術のせいもあるのでしょうか、情景が頭に浮かんで来て、会場の暗さも加わり、良い気分になっておりました。これから長く続けていきますので、皆さんの協力が必要です。フォーラムを始めた時、「100年プラン」を立ち上げました。100年後、私は生きておりませんが、志だけは長く続けていきたいと思っておりますので、皆さんのご協力をお願いしたいと思っております。本日もご出席いただいた皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げ、閉会の挨拶とさせていただきます。本日は、お忙しい中、誠に有り難うございました。

9. 閉 会

（司会）皆様、本日は長時間に亘り、会議進行にご協力を頂きまして、誠に有り難うございました。ひとつご案内ですが、会場を出られてすぐ右の壁沿いに、「多摩川夢の桜街道」パネルの美しい展示がございますので、ぜひお帰りの際にご覧ください。以上をもちまして、本日の美しい多摩川フォーラム・平成24年度総会を閉会とさせていただきます。有り難うございました。

以 上

上記の内容について相違ないと認めます。